

培ったスキルを活かし、働く人を育てる
それが「テクノインストラクター」です



テクノインストラクターになるための

指導員養成訓練 ガイドブック

指導員養成訓練のご案内



職業能力開発総合大学校
POLYTECHNIC UNIVERSITY (PTU)

技で未来を切り開く！

- 01 職業訓練指導員(テクノインストラクター)とは
- 02 仕事のやりがい ～現役の指導員に聞いてみました～
- 04 職業訓練指導員になる方法
- 05 職業訓練指導員に求められる7つの能力
- 06 指導員養成訓練コース一覧



[各コース概要]

指導員養成課程

- 08 訓練技法習得コース
- 09 訓練技法・技能等習得コース
- 10 指導力習得コース
- 11 職種転換コース
- 12 実務経験者訓練技法習得コース



高度養成課程

- 14 職業能力開発研究学域
- 15 専門課程担当者養成コース
- 16 応用課程担当者養成コース
- 17 職業能力開発総合大学校(PTU)とは



シンボルマークについて

「科学」、「技術」、「技能」をあらわす3本柱は、職業大(英語名称:Polytechnic University)の開校以来のシンボルマークで、これら3つの柱が一体となった教育ならびにその効果が社会で具現化される様子を图示したものです。専門的キャリア習得がますます重要視されるこれからの時代に必須とされる要素であり、また世界的に通用する学校名にあるポリテクニクという精神とも一致します。

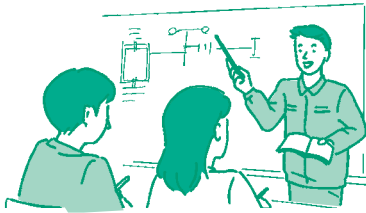
テクノインストラクター 職業訓練指導員とは

日本には、希望する仕事に就くために必要な技能や知識を習得できる、職業訓練（ハロートレーニング）という公的制度があります。国や都道府県等の施設で公務員や団体職員としてその訓練を担当するのが職業訓練指導員（テクノインストラクター）です。テクノインストラクターは法律（職業能力開発促進法）に基づく専門職です。

仕事内容 　　こういう仕事をしています。

● 高度な技術をもった人材の育成

高校等の学校を卒業した人に対し、高度な技術を学ぶことができる授業を行い、専門的な技能・技術をもった人材を育成しています。



● 就職や技術のスキルアップの支援

求職者や在職者を対象に、専門的な技術等を学ぶ授業やキャリアプランの相談等を行い、再就職の支援をしています。また、すでに仕事をしている人に対し研修を行い、スキルアップの手助けをしています。



● 事業主の支援

事業主、事業主団体から、生産性の向上や人材育成に関する相談を受け、訓練コーディネートから実施までの支援を行っています。



受講者 　　こういう人に訓練しています。

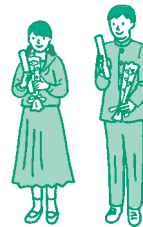
● 仕事を探している人（求職者）



● スキルアップしたい人（在職者）



● 学校を卒業した人（中卒者、高卒者）



● 障害をもっている人

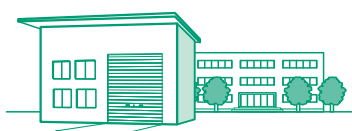


場所 　　こういう所で働いています。

● 国や都道府県が運営する訓練施設



● 民間企業等が運営する訓練施設



● 法務省が運営する矯正施設



適性 　　こういう人に向いている仕事です。

● 好奇心旺盛な人

● 教えることが好きな人

● 困っている人の役に立ちたい人

● 人と接することが好きな人

仕事のやりがい

～現役のテクノインストラクターに聞いてみました～

就職やスキルアップに必要な技術的指導のほか、受講者へのキャリアコンサルティング、人材ニーズの把握とニーズに沿った人材の育成、訓練カリキュラムの開発等を担っています。



(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 職業能力開発大学校

Q1 どのような仕事をしていますか？

- A. 学卒者には「社会で働くための知識や技術を習得させること」「就職支援や生活指導をすること」、事業主の方には「職業能力・人材に関するニーズをヒアリングして、セミナーを展開したり人材紹介をしたりすること」、地域全体に向けては「学生募集、セミナー受講者募集のため広報活動をする」とが主な業務です。就職する前は「訓練や授業をする仕事」というイメージが大きかったのですが、実際の業務は前述したように多岐にわたっていると感じています。（沖縄能開大）
- A. 専門課程の生産技術科で、機械設計、組立、メカトロニクスの実践的な技術指導を行い、学生の能力を引き出しています。技術と同時に、礼節や自律の重要性も大切にしています。また、地域企業との共同研究や技術講習会を通じて、地域産業に貢献することを目指しています。（北海道能開大）



Q2 どのようなやりがいがありますか？

- A. 自身の知識や技能・技術を受講者に伝え、訓練を通じてものづくりにより興味を持ち、それが受講者の将来のキャリアに役立つことにやりがいを感じます。また、担当した受講者本人からの感謝の言葉や、受講者が新しい職業に就く手助けをすることで、現場のリーダー育成や技術者の人手不足の解消などといった、ものづくり産業全体の課題に対して、少しでも貢献していると感じることができるところにやりがいを感じます。（東北能開大）
- A. 「何かを分かるようになりたい」、「できるようになりたい」といった、目標を持つ学生をはじめ受講者に対して指導を行い、分かった、出来るようになったという、達成感を共有していただけたときにやりがいを感じることができます。また、授業やセミナーといった業務の他に施設運営において、施設が抱える課題等に対し、自身がこれまで培った知識や経験が課題解決に役立つときにやりがいを感じます。（北海道能開大）

Q3 大変なことはなんですか？

- A. 訓練はクラス単位のため習得状況にばらつきが出ます。そこで速い方を退屈させず、遅れている方をフォローする指導テクニックが必要になります。また、生活指導の方針がテクノインストラクターごとに異なるケースがあるため、科（チーム）として指導方針を共有しておく必要があります。最近は事務作業や外回りも多く、幅広く業務に向き合う姿勢が求められます。（近畿能開大）
- A. 自分が想像しているよりも製造業という分野は広く、一つの職種をとってもその内容は企業により多様であり、求められるレベルも様々です。特にセミナー受講者を含め企業からの相談に応じる際には、相手の悩みに共感できるほどの知見を広げておく必要があります。また相談に対する対応策も同時に検討する必要があるため、日ごろの情報収集も含め、事前準備等は大変なところでありますが、企業等からの要望に応えられることは、充実感がとてもあります。（東北能開大）



Q4 メッセージをどうぞ！

- A. 皆さんが思っている以上に人に何かを教えるというのは楽しいものです。特に、受講者や学生から「先生の授業は面白い」「わかりやすいからもっと受けたい」と言われるのはとてもうれしく、仕事の励みになります。受講者や学生の新たな道を切り開くための一員として、テクノインストラクターを目指してみませんか。（関東能開大）



法務省 刑務所・少年院

Q1 どのような仕事をしていますか？

- A. 刑務所に収容されている者に対し、刑務所で行わせる作業の企画、指導、職業訓練といった管理側の仕事を行っています。刑務作業では、工場の生産、品質及び作業内容の選定と多岐にわたります。職業訓練では、フォークリフト訓練や溶接訓練等、社会復帰につながる訓練を中心にを行っています。（横浜刑務所）

Q2 どのようなやりがいがありますか？

- A. 学生時代に習得した知識及び技術を活かすことができる技術系専門職の国家公務員であり、刑務作業を通じて受刑者を改善更生させ社会復帰の促進に直結させることがやりがいです。また、様々な職種を担当するため、自分の知識や技術の向上につながることも、この仕事の魅力の一つだと思います。（横浜刑務所）
- A. 指導した内容に対して、作業者の意欲的に取り組む姿勢が見られた瞬間です。「ありがとうございます。」などの言葉で表現してくれることも嬉しいです。言葉よりも行動の方が持続性があり、本心が見えると思うからです。（府中刑務所）



Q3 大変なことはなんですか？

- A. 受刑者とコミュニケーションをとることに最初は戸惑うことがありました。また、刑務作業の技術指導に係る専門的な知識だけでなく、法律に関する知識も身に付ける必要があり、最初は覚えることが多く大変でした。（横浜刑務所）

Q4 メッセージをどうぞ！

- A. 私たち作業専門官の仕事は、1年目から職業能力開発総合大学校で学んだ知識や技術を活かすことができる仕事です。また、職業能力開発総合大学校在籍時に取得した職業訓練指導員免許を活かすことができます。働きながら自分の可能性を発見したいと思っている人こそ、私たちと一緒に仕事をしてみませんか。（横浜刑務所）

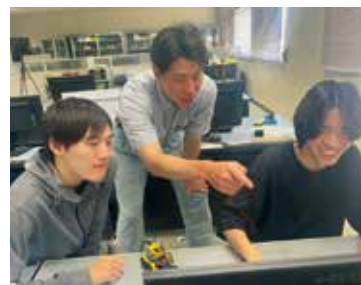




Q1 どのような仕事をしていますか？

A. 障害者訓練科で、知的障害のある訓練生に対し「就職に必要な力」、「就職して長く働くために必要な力」プラス「基本的なスキル」を身に付けるための訓練をしています。様々な就職先を見据えて行う学科や実技、また職場実習を行います。月に一度は公共交通機関を利用し、銀行や郵便局に向いて訓練手当の引き出しを行い、社会人として自立した生活が送れるよう小遣い等の金銭管理などの生活面全般の指導を行っています。（岡山県）

A. 主な仕事は、訓練生への技術指導・生活指導・就職支援や、地域の企業求人の開拓、高校訪問による訓練生募集の広報活動、在職中の方を対象としたセミナーの実施です。不定期ですが、府主催のものづくりイベントや、小学生向けの体験教室などにも参加し、地域の方と交流する機会もあり、毎年新鮮な気持ちで仕事をしています。（京都府）



Q2 どのようなやりがいがありますか？

A. 訓練期間中はクラスの運営や訓練の進め方など、いろいろ悩み事は尽きないのですが、企業訪問したときに、担当した修了生の頑張っている姿を見かけたときや職場で活躍していることを聞いたりするととても嬉しく、一番のモチベーションになります。（佐賀県）

A. 1つ目は、受講生が資格取得や共同実習等にチャレンジして成果を出し、「できる」ことへの喜びが自信となって、意欲的に取り組んでくれることです。2つ目は、修了生が就職先で活躍してくれることです。修了後、就職先で一生懸命働いている様子を知ることや、独立起業して当学院へ求人（または講師として指導）してくれる修了生は、非常に頼もしく、「この仕事をやっていてよかった」と満足しています。（兵庫県）

Q3 大変なことはなんですか？

A. 実習では、様々な機械を使用するので、ケガや事故のないように、安全性を考えたり、訓練生も個々の能力や理解度に差があるため、よく見て訓練を進める必要があります。教材資料や掲示物等、訓練指導に必要なものは自ら作成もします。教え方には様々な方法が考えられるため、大変です。訓練に関わることで以外にも、学校行事や他の事務作業等、仕事内容は多岐にわたるので、慣れるまでは大変ですが、分担して行っています。（岡山県）

A. 常に勉強し続けることです。情報通信分野は技術変化が早く、今まで指導してきた内容と全く違うことを教えることがあります。しかし、新たな知識を取得できる機会でもあるため頑張れます。（三重県）



Q4 メッセージをどうぞ！

A. テクノインストラクターの仕事は、その多くの時間を人材育成（能力開発）に費やすこととなります。その他の役割として、高校や企業へ訓練校の宣伝、求人の開拓といった営業職の様な側面があるとともに、自分の専門知識を伸ばす専門職・技術職的な側面、SNSを利用した広報活動などのクリエイティブ職の側面など多岐にわたります。日々仕事を行う中で新しい発見や、地域貢献をしている実感を味わえる唯一無二の職種だと感じます。是非目指してみてください。（京都府）

A. 学校卒業後の進路に迷っている人や再就職に苦慮している人への就職支援は、様々な機関で行われていますが、専門分野の知識・技能を習得できる職業能力開発施設は、非常に大切な機関です。テクノインストラクターは、就職支援をする唯一の技術者です。我々と一緒に、職業訓練を必要とする人々をサポートしましょう。（兵庫県）

仕事のやりがい



受講者が自信をもって働けるように、指導を通じて人材育成を行い、企業へ送り出します。就職や転職といった「**人生の転機**」に携わることができる魅力的な仕事です。さらに、国内の9割以上を占める中小企業にスキルをもった人を増やすことで、企業技術のレベルアップにも貢献します。業績がアップすれば、個人の給与があがり、経済を潤していきます。

テクノインストラクターの仕事は、人づくり、企業づくりを通じて日本国内まで豊かにできる仕事なのです。また、様々な人と接することで、自身の成長にもつながります。

テクノインストラクター 職業訓練指導員になる方法

テクノインストラクターになるためには、職業訓練指導員免許を取得する必要があります。
免許の取得方法は複数ありますが、代表的な取得方法をご紹介します。

方法1

この
ガイドブックで
紹介している
方法

指導員養成訓練を受講・修了

指導員養成訓練指導員養成課程を修了した方は、修了後、都道府県へ申請することにより、職業訓練指導員免許を取得することができます。指導員養成課程については、P.6以降で詳しく紹介しています。

【職業能力開発総合大学校】

指導員養成訓練指導員養成課程を修了

方法2

技能検定に合格

技能検定に合格した方は、厚生労働大臣が指定する講習を修了するか、職業訓練指導員試験に合格することで、職業訓練指導員免許を取得することができます。厚生労働大臣が指定する講習は各都道府県の職業能力開発協会が実施しており、職業訓練指導員試験は各都道府県が実施しています。技能検定に合格した方は、職業訓練指導員試験のうち、実技試験や学科試験の一部が免除される場合があります。

技能検定1級に合格

【職業能力開発協会】

厚生労働大臣が指定する講習を修了 (通称: 48時間講習)

技能検定
1級又は2級に合格

【都道府県】

職業訓練指導員試験に合格

方法3

実務経験(免許職種に関係するもの)を積む

民間企業等で免許職種に関する実務経験を積んだ方は、厚生労働大臣が指定する講習を修了するか、職業訓練指導員試験に合格することで、職業訓練指導員免許を取得することができます。厚生労働大臣が指定する講習は各都道府県の職業能力開発協会が実施しており、職業訓練指導員試験は各都道府県が実施しています。

高等学校、
四年制大学卒業、
職業能力開発大学校修了など
+
実務経験 (例: 大卒2年・高卒7年)

【職業能力開発協会】

厚生労働大臣が指定する講習を修了 (通称: 48時間講習)

高等学校、
四年制大学卒業、
職業能力開発大学校修了など
+
実務経験 (例: 大卒1年・高卒3年)

【都道府県】

職業訓練指導員試験に合格

方法4

教員免許(高等学校普通教育免許)を取得

免許職種に関する学科履修し、高等学校普通教育免許を所持している方は、都道府県へ申請することで職業訓練指導員免許を取得することができます。

高等学校普通教育免許所持者

免許職種に関する学科履修者

(看護、看護実習、家庭、家庭実習、情報、情報実習、農業、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉又は福祉実習に係る免許所持者)

【都道府県】
職業訓練指導員免許申請

テクノインストラクター

職業訓練指導員に求められる 7つの能力

指導員養成訓練をとおしてこれらの能力を身に付けます

受講者は10代～60代まで幅広い！

職業能力開発指導力

受講者にとって
分かりやすい指導を
行うことができる。



相手の思いを理解することが大事！

訓練コーディネート力

企業のニーズを汲み取り、
訓練内容の考案・
提案ができる。



本人が決定できるように
支援することが重要！

キャリア コンサルティング力

就職活動支援、就職後を
見据えたうえでの提案・
考え方の整理ができる。



実際の経験があるから
伝えることができる！

技能・技術力

原理・原則を理解し、
確実な腕前をもって
人に教えることができる。



トレンドに敏感になり、
向上心をもつことが大事！

イノベーション力

ものづくりの現場において
今までにない発想・企画・提案
をすることができる。



生産現場の流れを理解することも大切！

マネジメント力

企業の生産性向上
(低コスト化・納期短縮・
品質向上等)に向けた
適切な支援ができる。



どんな仕事をするときにも必要な能力！

問題発見解決力

問題を発見し、問題点を
整理・分析するとともに、
その解決策を考える
ことができる。





指導員養成訓練

指導員養成課程

普通職業訓練^{※1}を担当できるテクノインストラクターを養成する課程です。

[コース名]		[取得できる資格]
訓練技法習得コース	P.08	普通課程担当資格 ^{※2}
普通職業訓練の指導技法を習得		
訓練技法・技能等習得コース	P.09	
普通職業訓練の指導技法・技能等を習得		
指導力習得コース	P.10	受講した職種の 普通課程担当資格
職業能力開発総合大学校で学ぶ総合課程3年次の学生が対象		
職種転換コース	P.11	普通課程担当資格
職業訓練指導員免許を追加して取得		
実務経験者訓練技法習得コース	P.12	
実務経験を活かし職業訓練指導員免許を取得		

高度養成課程

高度職業訓練^{※4}を担当できるテクノインストラクターを養成する課程です。

[コース名]		[取得できる資格]
職業能力開発研究学域^{※5}	P.14	・修士(生産工学)^{※6} ・普通課程担当資格 ・専門課程担当資格
実践的な能力を養い修士相当の研究能力を育成		
専門課程^{※7}担当者養成コース	P.15	専門課程担当資格
高度職業訓練の指導技法を習得		
応用課程^{※8}担当者養成コース	P.16	応用課程担当資格
応用課程の訓練指導者を育成		

■用語説明

- ※1 普通職業訓練 新しい職種で働くために必要となる基礎的な技能・知識をもった人材を育成するための職業訓練。工具の名前や使い方ははじめ、仕事に従事するために必要な技能・知識を習得できる。
- ※2 普通課程担当資格 普通課程(職業能力開発校にて、中・高卒者を対象に実施している職業訓練)を担当できる資格。
- ※3 総合課程 職業能力開発総合大学校にて、高卒者を対象に実施している高度技能者を育成するための職業訓練。特定専門課程及び特定応用課程を包括した4年間の課程。修了時に学士(生産技術)が授与される。
- ※4 高度職業訓練 基礎から応用まで専門的な技能・知識を持った新卒レベルの人材を育成するための職業訓練。普通職業訓練よりも高度な技能・知識を習得できる。

コース一覧



【訓練期間】	【対象者】	【取得資格で担当できる施設等】
6か月	- 職業能力開発大学校(応用課程)修了者 - 職業能力開発総合大学校(総合課程※³)卒業者のうち指導力習得コース未修了者	●(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構(ポリテクセンター) ●都道府県(職業能力開発校) ●法務省(矯正施設) ●民間(認定職業訓練校)
1年	学校教育法による大学(短期大学を除く)卒業者	
1年 (3年次に履修)	職業能力開発総合大学校 総合課程3年生	
1年 (6か月に短縮可)	普通課程担当資格所有者	
3～4か月	実務経験者等	

【訓練期間】	【対象者】	【取得資格で担当できる施設等】
2年	- 職業能力開発総合大学校(総合課程)卒業者 - 職業能力開発大学校(応用課程)修了者 - 学校教育法による大学(短期大学を除く)卒業者	●(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構(ポリテクセンター、ポリテクカレッジ) ●都道府県(職業能力開発校) ●法務省(矯正施設)
6か月	普通課程担当資格所有者	
1年	専門課程担当資格所有者	

- ※5 職業能力開発研究学域 一般大学における修士課程に相当しており、職業訓練指導員としての実践的な能力を養うと同時に、自身の研究テーマの追究を通して修士相当の研究能力を育成する。
- ※6 修士(生産工学) 学内論文審査及び修了後の(独)大学改革支援・学位授与機構による審査に合格することで取得可能。
- ※7 専門課程 職業能力開発大学校や職業能力開発短期大学校にて、高卒者を対象に実施している職業訓練。高度な知識と技能・技術を有した実践技術者を育成する。
- ※8 応用課程 職業能力開発大学校にて、専門課程修了者等を対象に実施している職業訓練。製品開発や生産工程を構築できる生産現場のリーダーを育成する。

テクノインストラクターとして、職業能力開発施設等で普通職業訓練の指導ができる技法を習得します。

対象者	- 職業能力開発大学校(応用課程)修了者 - 職業能力開発総合大学校(総合課程)卒業者のうち指導力習得コース未修了者										
取得できる資格	職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)										
訓練科と取得できる職業訓練指導員免許の免許職種	<table border="1"> <thead> <tr> <th>訓練科</th><th>免許職種</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械指導科</td><td>機械科(溶接科)(塑性加工科)(メカトロニクス科)(熱処理科)</td></tr> <tr> <td>電気指導科</td><td>電気科、電気工学科(メカトロニクス科)(発電電科)(送配電科)</td></tr> <tr> <td>電子情報指導科</td><td>電子科、コンピュータ制御科(情報処理科)(メカトロニクス科)</td></tr> <tr> <td>建築指導科</td><td>建築科、建設科(防水科)(左官・タイル科)(配管科)(木工科)</td></tr> </tbody> </table> ()内の免許職種は、以下の場合取得できます。 ①総合課程において、当該免許職種に関連する専攻を卒業した場合 ②応用課程において、当該免許職種に関連する科目を修めて修了した場合	訓練科	免許職種	機械指導科	機械科(溶接科)(塑性加工科)(メカトロニクス科)(熱処理科)	電気指導科	電気科、電気工学科(メカトロニクス科)(発電電科)(送配電科)	電子情報指導科	電子科、コンピュータ制御科(情報処理科)(メカトロニクス科)	建築指導科	建築科、建設科(防水科)(左官・タイル科)(配管科)(木工科)
訓練科	免許職種										
機械指導科	機械科(溶接科)(塑性加工科)(メカトロニクス科)(熱処理科)										
電気指導科	電気科、電気工学科(メカトロニクス科)(発電電科)(送配電科)										
電子情報指導科	電子科、コンピュータ制御科(情報処理科)(メカトロニクス科)										
建築指導科	建築科、建設科(防水科)(左官・タイル科)(配管科)(木工科)										

訓練内容

【4～6月】 職業能力開発総合大学校で、以下の3つの能力を習得します。

1 職業能力開発指導力

職業能力開発に対する基本理念や、適切で効果的な訓練を実施するための訓練・授業の指導計画について習得します。

2 訓練コーディネータ力

企業が実施している人材育成計画に助言ができ、適切な訓練コースを提案できる力を習得します。

3 キャリア・コンサルティング力

相談者が抱える課題の把握や適切な支援方法について習得します。

【7～9月】 OJT実習※で指導計画や企業への訪問、相談者への支援方法を学び、実践的な知識・技術等を習得します。OJT実習の具体的な時期・実施方法については、入校後にお知らせします。

※OJT実習:「コース修了後のキャリア」に紹介されている施設にて実際に職業訓練の指導方法を学ぶ授業のこと

コース修了後のキャリア

国や都道府県が運営する公共職業能力開発施設

- 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (ポリテクセンター)
- 都道府県(職業能力開発施設)

工具の名前や使い方を教えるのはもちろん、グループ作業を実施したり、受講者への就職支援活動を行ったりします。

教える主な対象者

- ・求職者
- ・在職者
- ・中卒者



民間企業などが運営する訓練施設

- 認定職業訓練校をもつ民間企業

企業の社員へ、その企業に関する専門知識や技能等を教えます。

教える主な対象者

- ・民間企業内の社員



法 務 省

- 刑務所
- 少年刑務所
- 拘置所

受刑者へもののづくりの技能・技術を教えます。受刑者が作ったBBQコンロや家具等の商品は、様々なところで売られています。

教える主な対象者

- ・受刑者



テクノインストラクターとして、職業能力開発施設等で普通職業訓練の指導ができる技法・技能等を習得します。

対象者	学校教育法による大学（短期大学を除く）において訓練科に関連する学科を卒業した者										
取得できる資格	職業訓練指導員免許（普通課程担当資格）										
訓練科と取得できる職業訓練指導員免許の免許職種	<table border="1"> <thead> <tr> <th>訓練科</th><th>免許職種</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械指導科</td><td>機械科（溶接科）（塑性加工科）（メカトロニクス科）（熱処理科）</td></tr> <tr> <td>電気指導科</td><td>電気科（電気工事科）（メカトロニクス科）（発電電科）（送配電科）</td></tr> <tr> <td>電子情報指導科</td><td>電子科（コンピュータ制御科）（情報処理科）（メカトロニクス科）</td></tr> <tr> <td>建築指導科</td><td>建築科（建設科）（防水科）（左官・タイル科）（配管科）（木工科）</td></tr> </tbody> </table> （ ）内の免許職種は、学校教育法による大学において、当該免許職種に関する科目を修めて卒業した場合に取得できます。	訓練科	免許職種	機械指導科	機械科（溶接科）（塑性加工科）（メカトロニクス科）（熱処理科）	電気指導科	電気科（電気工事科）（メカトロニクス科）（発電電科）（送配電科）	電子情報指導科	電子科（コンピュータ制御科）（情報処理科）（メカトロニクス科）	建築指導科	建築科（建設科）（防水科）（左官・タイル科）（配管科）（木工科）
訓練科	免許職種										
機械指導科	機械科（溶接科）（塑性加工科）（メカトロニクス科）（熱処理科）										
電気指導科	電気科（電気工事科）（メカトロニクス科）（発電電科）（送配電科）										
電子情報指導科	電子科（コンピュータ制御科）（情報処理科）（メカトロニクス科）										
建築指導科	建築科（建設科）（防水科）（左官・タイル科）（配管科）（木工科）										

訓練内容

- 【4～6月】** 職業能力開発総合大学校で、以下の3つの能力を習得します。
- 1 職業能力開発指導力**
職業能力開発に対する基本理念や、適切で効果的な訓練を実施するための訓練・授業の指導計画について習得します。
 - 2 訓練コーディネート力**
企業が実施している人材育成計画に助言ができ、適切な訓練コースを提案できる力を習得します。
 - 3 キャリア・コンサルティング力**
相談者が抱える課題の把握や適切な支援方法について習得します。
- 【7～9月】** OJT実習※で指導計画や企業への訪問、相談者への支援方法を学び、実践的な知識・技術等を習得します。OJT実習の具体的な時期・実施方法については、入校後にお知らせします。
- 【10～3月】** 職業能力開発総合大学校で各分野における高度な知識と技術力、実践力を身に付けます。

※OJT実習：「コース修了後のキャリア」に紹介されている施設にて実際に職業訓練の指導方法を学ぶ授業のこと

コース修了後のキャリア

国や都道府県が運営する公共職業能力開発施設

- 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構（ポリテクセンター）
- 都道府県（職業能力開発施設）

工具の名前や使い方を教えるのはもちろん、グループ作業を実施したり、受講者への就職支援活動を行ったりします。

教える主な対象者

- ・求職者
- ・在職者
- ・中卒者



民間企業などが運営する訓練施設

- 認定職業訓練校をもつ民間企業

企業の社員へ、その企業に関する専門知識や技能等を教えます。

教える主な対象者

- ・民間企業内の社員



法 務 省

- 刑務所
- 少年刑務所
- 拘置所

受刑者へものづくりの技能・技術を教えます。受刑者が作ったBBQコンロや家具等の商品は、様々なところで売られています。

教える主な対象者

- ・受刑者



テクノインストラクターに必要な能力を、総合課程の学生が習得するためのコースです。3年次に追加受講・修了し、かつ職業能力開発総合大学校を卒業すれば、職業訓練指導員免許を取得できます。

対象者	職業能力開発総合大学校（総合課程）3年生										
取得できる資格	職業訓練指導員免許（普通課程担当資格）										
取得できる 職業訓練指導員免許 の免許職種	<table> <tr> <th>総合課程の専攻</th><th>免許職種</th></tr> <tr> <td>機械工学専攻</td><td>機械科、溶接科、塑性加工科、メカトロニクス科、熱処理科</td></tr> <tr> <td>電気工学専攻</td><td>電気科、電気工事科、メカトロニクス科、発電電科、送配電科</td></tr> <tr> <td>電子情報工学専攻</td><td>電子科、コンピュータ制御科、情報処理科、メカトロニクス科</td></tr> <tr> <td>建築工学専攻</td><td>建築科、建設科、防水科、左官・タイル科、配管科、木工科</td></tr> </table>	総合課程の専攻	免許職種	機械工学専攻	機械科、溶接科、塑性加工科、メカトロニクス科、熱処理科	電気工学専攻	電気科、電気工事科、メカトロニクス科、発電電科、送配電科	電子情報工学専攻	電子科、コンピュータ制御科、情報処理科、メカトロニクス科	建築工学専攻	建築科、建設科、防水科、左官・タイル科、配管科、木工科
総合課程の専攻	免許職種										
機械工学専攻	機械科、溶接科、塑性加工科、メカトロニクス科、熱処理科										
電気工学専攻	電気科、電気工事科、メカトロニクス科、発電電科、送配電科										
電子情報工学専攻	電子科、コンピュータ制御科、情報処理科、メカトロニクス科										
建築工学専攻	建築科、建設科、防水科、左官・タイル科、配管科、木工科										

職業訓練指導員免許取得までの流れ

総合課程の学年	1・2年生	3年生	4年生
指導力習得 コースの訓練		指導力習得コース	
総合課程の科目		職業訓練指導員に必要な能力を 習得する科目	

卒業後、
各都道府県へ
職業訓練指導員
免許交付を申請

コース修了後のキャリア

国や都道府県が運営する 公共職業能力開発施設

- 独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構
(ポリテクセンター)
- 都道府県(職業能力開発施設)

工具の名前や使い方を教えるのはもちろん、
グループ作業を実施したり、受講者への就職
支援活動を行ったりします。

教える主な対象者

- ・求職者
- ・在職者
- ・中卒者



民間企業などが運営する 訓練施設

- 認定職業訓練校をもつ民間企業

企業の社員へ、その企業に関する専門知識や
技能等を教えます。

教える主な対象者

- ・民間企業内の社員



法 務 省

- 刑務所
- 少年刑務所
- 拘置所

受刑者へもののづくりの技能・技術を教えます。
受刑者が作ったBBQコンロや家具等の商品
は、様々なところで売られています。

教える主な対象者

- ・受刑者



職業訓練指導員免許をお持ちの方が、必要な専門知識・技能を習得することにより、新たにまたは追加して免許を取得できるコースです。

対象者	・ 職業訓練指導員免許を所持している方 ・ 職業訓練指導員業務に1年以上の実務経験を有する方 受講を検討されている方は、必ず出願前に学生課へお問い合わせください。
取得できる資格	受講科の職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)
訓練科	・ 機械科 ・ メカトロニクス科 ・ コンピュータ制御科 ・ 構造物鉄工科 ・ 塑性加工科 ・ 溶接科 ・ 電気科 ・ 電気工事科 ・ 電子科 ・ 建築科 ・ 木工科 ・ 配管科 ・ 情報処理科 ・ 塗装科 ・ デザイン科 ※応募状況等により開講しないことがあります。

訓練内容※1

指導学科

職業能力開発総合大学校で、以下の3つの能力を習得します。

1 職業能力開発指導力

職業能力開発に対する基本理念や、適切で効果的な訓練を実施するための訓練・授業の指導計画について習得します。

2 訓練コーディネート力

企業が実施している人材育成計画に助言ができ、適切な訓練コースを提案する力を習得します。

3 キャリア・コンサルティング力

相談者が抱える課題の把握や適切な支援方法について習得します。

実務実習

OJT実習※2の指導計画や企業への訪問、相談者への支援方法を学び、実践的な知識・技術等を習得します。
OJT実習の具体的な時期・実施方法については、入校後にお知らせします。

専門学科・実技

職業能力開発総合大学校で各分野における高度な知識と技術力、実践力を身に付けます。

※1 所持している免許職種や経歴によって科目の一部が省略となる場合があります。

※2 OJT実習:「コース修了後のキャリア」に紹介されている施設にて実際の職業訓練の指導のやり方を学ぶ授業のこと。

コース修了後のキャリア

国や都道府県が運営する公共職業能力開発施設

- 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (ポリテクセンター)
- 都道府県(職業能力開発施設)

工具の名前や使い方を教えるのはもちろん、グループ作業を実施したり、受講者への就職支援活動を行ったりします。

教える主な対象者

- ・ 求職者
- ・ 在職者
- ・ 中卒者



民間企業などが運営する訓練施設

- 認定職業訓練校をもつ民間企業

企業の社員へ、その企業に関する専門知識や技能等を教えます。

教える主な対象者

- ・ 民間企業内の社員



法 務 省

- 刑務所
- 少年刑務所
- 拘置所

受刑者へものづくりの技能・技術を教えます。受刑者が作ったBBQコンロや家具等の商品は、様々なところで売られています。

教える主な対象者

- ・ 受刑者



テクノインストラクターに必要な能力をe-ラーニングで受講し、能力審査(学科試験・実技試験)に合格することで、職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)を取得できるコースです。

民間企業等で培った実務経験を活かし、職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)取得を目指したい方にオススメです。

対象者	・ 職業訓練指導員試験を受験することができる方 ・ 48時間講習を受講することができる方(技能検定の一級・単一級を所持する者に限る) ・ 職業訓練において訓練を担当している方やこれから担当しようとする方 このコースを利用して免許を取得する場合は、コース修了後に職業能力開発総合大学校が実施する能力審査を受検し、合格する必要があります。
取得できる資格	職業訓練指導員免許(普通課程担当資格) ※能力審査合格者のみ
取得できる 職業訓練指導員免許の 免許職種	機械科 溶接科 電子科 電気科 電気工事科 建築科 コンピュータ制御科 建設科 事務科 情報処理科 ほか 【留意事項】 ① 受講する訓練科が能力審査の検定科となります。 ② 能力審査に合格した科の職業訓練指導員免許を取得できます。能力審査は学科試験と実技試験の両方があります。 ③ 能力審査が免除となる場合(48時間講習を受講することができる方)は、上記の免許職種に限りません。 ④ 能力審査の受検資格を満たさない場合は、職業訓練指導員免許は取得できません。受講を希望される方は、出願手続き開始の1か月前までに事前確認票又はメールフォームにて必ずご相談ください。

訓練内容

次の3種類の科目の中からお選びください。いずれの科目を受講した場合でもコース終了後、能力審査に合格することで職業訓練指導員免許が取得可能です。「職業能力開発指導法」を受講された方は、能力審査受検時に学科試験(指導方法)が免除されます。

一日あたりの受講時間は、訓練期間が46日の場合は約3時間、77日の場合は約2時間がおおよその目安です。

□ 職業能力開発指導法

職業能力開発に関する知識を有し、若年者から高齢者まで幅広い年齢層の訓練受講者に指導することができ、PDCAサイクルによる職業訓練の運営を行うことができる能力を習得します。

□ 訓練コーディネート法

企業(事業主、在職者)・求職者等の職業能力開発に対するニーズや技術動向の把握、訓練コースの設定及び既存コースの内容の見直し、企業の人材育成計画にかかわる助言等、要望に合った訓練コースの企画・立案ができる能力を習得します。

□ キャリアコンサルティング法

労働者が、職業経験等に応じた職業生活設計を行うため、職業選択や職業訓練等による職業能力の効率的な習得に必要な相談や支援を行うことができる能力を習得します。

能力審査

能力審査とは、取得を希望する免許職種に関する技能や知識など、職業訓練指導員として必要な能力を持っているかを審査するものです。

学科試験と実技試験があり、都道府県で開催される職業訓練指導員試験と同レベルの内容を出題します。

開催時期は、3月と9月の年2回です。詳しい日程は、職業能力開発総合大学校から送付される受検案内をご覧ください。

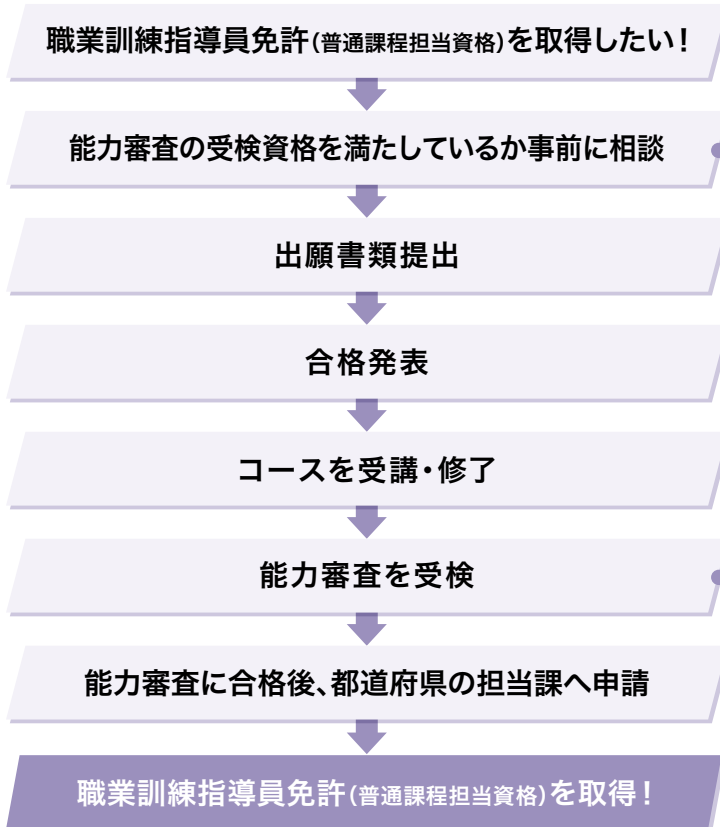
■ 学科試験

関連学科(系基礎学科・専攻学科)、指導方法

(上記「訓練内容」に記載の職業能力開発指導法を修了した方は、「指導方法」の受検が免除となります)

■ 実技試験

実務経験者訓練技法習得コース受講から免許取得までの流れ



受検資格の詳細は
HPでチェック！



職業大ホームページに掲載の事前確認票、もしくは専用のメールフォームにてお問い合わせください。

※能力審査の受験資格を満たさない場合、職業訓練指導員免許は取得できません。

■ 受検時期
年2回(9月または3月予定)

■ 会場
職業能力開発総合大学校

■ 試験科目
・学科試験(指導方法)
・学科試験(系基礎学科、専攻学科)
・実技試験

※「職業能力開発指導法」を修了した方は学科試験のうち「指導方法」が免除となります。



よくある質問



Q1

実務経験者訓練技法習得コースはパソコンを使用して受講する Web コースとありますが、パソコンスキル等はどの程度あればよいのでしょうか？

A1

パソコンの基本的な操作ができることが望ましいです。具体例としては、Word や Excel、PowerPointで書類を作成できること、必要書類をダウンロードして課題を作成および指定場所にアップロードできること、メールの送受信ができること等です。

Q2

e-ラーニングで受講できるようですが、特別に受講日時を指定される授業はありますか？

A2

原則として、オンデマンド型の授業であるため、リアルタイムで受講する必要はありません。ただし、開講科目のうち「職業能力開発指導法」のカリキュラムの中には、提出した課題を受講者同士で相互評価し、修正しながら課題を完成させる授業が含まれます。課題実施期間が決まっておりますが、パソコンの前に待機しておく必要はなく、定められた期間内に相互評価を終了していただければ問題ありません。詳細なスケジュールは、開講前に送付する時間割でお知らせします。

※受講者数が少ない等の場合は、受講者同士での相互評価を実施しないことがあります。

Q3

能力審査の過去問題や参考書籍等の情報を提供してほしいのですが。

A3

能力審査の問題は、過去問題も含め非公開です。

能力審査は、職業訓練指導員試験の学科試験及び実技試験に合格した者と同等以上の技能及びこれに関する知識を有することを判定するものです。

これは、職業訓練指導員免許に関連する実務経験や保有している資格を含め、これまでに受検者の方が培ってきたテクノインストラクターに必要な能力を総合的に判定しているものであることから、各試験科目における試験対策に類するものは作成しておりませんので、あらかじめご了承ください。

テクノインストラクターとしての実践的な能力を養うと同時に、自身の研究テーマの追究を通して修士相当の研究能力を育成します。

機械・電気・電子情報・建築の4分野の研究成果を生産現場に適用・展開していく際の応用技術を、設計・加工・評価・環境のそれぞれの視点から研究します。

対象者	- 総合課程卒業者 - 応用課程修了者 - 学校教育法による大学（短期大学を除く）において専攻に関連する学科を卒業した者										
取得できる資格	- 修士(生産工学) ※学内論文審査及び修了後の(独)大学改革支援・学位授与機構による審査に合格する必要があります。 - 職業訓練指導員免許(普通課程担当資格) - 職業訓練指導員免許(専門課程担当資格)										
専攻と取得できる職業訓練指導員免許の免許職種	<table> <tr> <th>専攻</th><th>免許職種</th></tr> <tr> <td>機械専攻</td><td>機械科(溶接科)(塑性加工科)(メカトロニクス科)(熱処理科)</td></tr> <tr> <td>電気専攻</td><td>電気科(電気工事科)(メカトロニクス科)(発電電科)(送配電科)</td></tr> <tr> <td>電子情報専攻</td><td>電子科(コンピュータ制御科)(情報処理科)(メカトロニクス科)</td></tr> <tr> <td>建築専攻</td><td>建築科(建設科)(防水科)(左官・タイル科)(配管科)(木工科)</td></tr> </table> ()内の免許職種は、以下の場合取得できます。 ①当該免許職種に関する総合課程の専攻を卒業した場合 ②応用課程、学校教育法による大学(短期大学を除く)において、当該免許職種に関する科目を修めて修了した場合	専攻	免許職種	機械専攻	機械科(溶接科)(塑性加工科)(メカトロニクス科)(熱処理科)	電気専攻	電気科(電気工事科)(メカトロニクス科)(発電電科)(送配電科)	電子情報専攻	電子科(コンピュータ制御科)(情報処理科)(メカトロニクス科)	建築専攻	建築科(建設科)(防水科)(左官・タイル科)(配管科)(木工科)
専攻	免許職種										
機械専攻	機械科(溶接科)(塑性加工科)(メカトロニクス科)(熱処理科)										
電気専攻	電気科(電気工事科)(メカトロニクス科)(発電電科)(送配電科)										
電子情報専攻	電子科(コンピュータ制御科)(情報処理科)(メカトロニクス科)										
建築専攻	建築科(建設科)(防水科)(左官・タイル科)(配管科)(木工科)										

訓練内容	1年目		2年目	
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
職業能力開発総合大学校(総合課程)卒業者	専門課程担当資格の教科目 OJT実習(7月～9月)			
職業能力開発大学校(応用課程)修了者	普通課程担当資格の教科目 OJT実習(7月～9月)		専門課程担当資格の教科目 OJT実習(7月～9月)	
学校教育法による大学(短期大学を除く)において専攻に関連する学科を卒業した者	普通課程担当資格の教科目 OJT実習(7月～9月)	免許職種に係る技術力・実践力を培う科目	専門課程担当資格の教科目 OJT実習(7月～9月)	

※OJT実習:「コース修了後のキャリア」に紹介されている施設にて実際に職業訓練の指導法を学ぶ授業のこと
 ※修了後、(独)大学改革支援・学位授与機構による審査に合格したのち、修士(生産工学)を取得できます。

コース修了後のキャリア

都道府県が運営する公共職業能力開発施設

- 職業能力開発校
- 職業能力開発短期大学校
- 障害者職業能力開発校

地域のニーズに応じながら、就職後必要となる知識や技能を教え、民間企業の即戦力となる人材を育成します。

教える主な対象者 ・高卒者等・在職者

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構

- ポリテクセンター
- 職業能力開発大学校

仕事に必要な高度で専門的な技能・技術・知識を備えた人材を育成します。地域の企業と共同研究を行ったり、入試業務や広報業務に携わったりすることもあります。

教える主な対象者 ・高卒者等・在職者

高度職業訓練(専門課程)の訓練指導を担当するために必要な指導技法を習得できるコースです。

対象者	・職業訓練指導員免許を所持している方 ・普通職業訓練の訓練指導を担当している方
担当できる資格	・職業訓練指導員免許(専門課程担当資格)

訓練内容

■ 訓練スケジュール

<4～6月> 職業能力開発総合大学校で、以下の3つの能力を習得します。

1 職業能力開発指導力

職業能力開発に対する総合的な視点を持ち、現状の職業能力開発を評価する力を習得します。また、専門分野の職業環境の現状を把握でき、求められる能力の特徴に応じた指導計画の立案や訓練を実施する能力を習得します。

2 訓練コーディネート力

人材ニーズの変化に応じた訓練コースの見直しや、新規コース開発のための調査分析について習得します。

3 キャリア・コンサルティング力

企業や教育におけるキャリア支援体制やキャリア支援内容を理解し、指導業務に携わるうえでの心構えや知識を習得します

<7～9月> 実習施設で、OJT実習※の指導計画や企業への訪問、相談者への支援方法を学び、実践的な知識・技術等を習得します。

※OJT実習:「コース修了後のキャリア」に紹介されている施設にて実際の職業訓練の指導のやり方を学ぶ授業のこと

■ 訓練科目の例

能力開発学科

- 職業能力開発原理応用
- キャリア・コンサルティング応用Ⅰ
- キャリア・コンサルティング応用Ⅱ
- コース開発法Ⅰ
- コース開発法Ⅱ

能力開発実技

- 高度訓練実施実践
- コーディネート実践
- キャリア・コンサルティング実践Ⅰ
- キャリア・コンサルティング実践Ⅱ
- 職業能力開発原理実践

※訓練科目の最新情報はホームページをご確認ください



本冊子の2ページで、実際に高度職業訓練を担当している皆さんの声をご紹介します。



コース修了後のキャリア

都道府県が運営する公共職業能力開発施設

●職業能力開発短期大学校

地域のニーズに応じながら、就職後必要となる知識や技能を教え、民間企業の即戦力となる人材を育成します。

教える主な対象者 ・ 高卒者等 ・ 在職者

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構

●職業能力開発短期大学校 ●職業能力開発大学校

仕事に必要な高度で専門的な技能・技術・知識を備えた人材を育成します。地域の企業と共同研究を行ったり、入試業務や広報業務に携わったりすることもあります。

教える主な対象者 ・ 高卒者等 ・ 在職者

職業能力開発大学校に設置されている応用課程の訓練担当者を育成するコースです。

応用課程は、「次代を担う高度で多様な職業能力を有し、“ものづくり現場を担う将来のリーダー”として企業の発展に貢献できる職業人を養成する」ことが目的とされており、応用課程担当者養成コースは、このための教育訓練を担当できる人材を養成することを目的としています。

対象者	・ 専門課程の高度職業訓練担当資格を有する方
担当できる課程	・ 職業訓練指導員免許（応用課程担当資格）

訓練内容

- **訓練スケジュール** より実践的なカリキュラムとするために、職業大における授業と、職業能力開発大学校の現場におけるカリキュラムで構成されています。

会場	時期	4月	5月～9月	10月	11月～1月	2月
職業能力開発総合大学校		能力開発学科 研究テーマ決定		能力開発学科 研究論文 中間発表会		能力開発学科 研究論文発表会
実習施設			専門実技 (OJT実習研究活動)		専門実技 (OJT実習研究活動)	

■ 訓練科目の例

能力開発学科

- 実践技術者養成特論
- 統計解析特論
- マネジメント特論
- ヒューマンスキル特論
- コンセプトアルスキル特論
- 教科指導法特論
- 安全衛生環境特論
- 品質・生産管理特論
- マネジメント演習
- 職業能力開発促進法の沿革等
- 職業訓練の実施に係る関連法
- 職業能力開発体系論

専門実技 (OJT実習)

- 統計解析実習
- 実践技術指導者実習
- 実践技術企業実習
- 課題制作特別実習
- 教材開発研究

※訓練科目の単位取得に加え、研究論文を作成し審査に合格することが
修了要件の一つとなっています。
※OJT実習の具体的な時期・実施方法については、入学後にお知らせします。
※所属する研究室及び指導教員は、入学後4月下旬に決定します。
※訓練科目の最新情報はホームページをご確認ください。



コース修了後のキャリア

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 ●職業能力開発大学校

仕事に必要な高度で専門的な技能・技術・知識を備えた人材を育成します。地域の企業と共同研究を行ったり、入試業務や広報業務に携わったりすることもあります。

教える主な対象者 ・ 高卒者等 ・ 在職者



職業能力開発総合大学校(PTU)とは

職業能力開発総合大学校(PTU:Polytechnic University)は、日本における職業訓練の中核機関です。

職業能力開発促進法第27条の規定に基づいて国が設置し、①職業訓練指導員の養成、②職業訓練指導員の研修、③職業能力の開発・向上に関する調査・研究、という3つの基幹業務を行うことを目的として、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営しています。

これらの3つの基幹業務の成果を実証するものとして、4年間の学修により日本で唯一の学士(生産技術)の学位を取得できる「総合課程」が設置されました。また、平成28年4月には、これも日本で唯一の修士(生産工学)の学位を取得できる「職業能力開発研究学域」を開設し、職業訓練指導員の資格と修士号をあわせもつ高度な人材を輩出しています。

① 職業訓練指導員の養成

職業訓練指導員は、公共職業能力開発施設などで職業に必要な知識・技能・技術を付与するために職業訓練を行う者です。職業大は、一つの基幹業務として、職業訓練指導員の養成を目的に指導員養成訓練を実施しています。

② 職業訓練指導員の研修

在職の職業訓練指導員を対象に、職業訓練業務を遂行するうえで必要な技能・技術および訓練技法の習得、訓練運営上の課題解決手法の習得など、職業訓練の質の向上に資する研修を実施しています。

お問合せ先 ▶ 職業能力開発総合大学校
研修課
TEL 042-346-7234



③ 職業能力の開発・向上に関する調査・研究

産業構造の変化に応じた職業能力開発の実践に必要な調査研究、及び効果的な職業訓練の実施に資する教材・訓練コース等の開発、並びに訓練技法・評価方法等の開発やこれらの成果等の情報発信を行っています。

お問合せ先 ▶ 職業能力開発総合大学校
基盤整備センター
TEL 042-348-5070



——《 職業能力開発 》——

人は、それぞれの役割を社会で果たすために、色々な職種の仕事に就いています。仕事を遂行する上で必要な能力を「職業能力」といいます。その中でも、「ものづくり」は、私たちの生活をより豊かにする上で大切な役割を担っています。高度な技術や知識を備えて内容を良く理解し、さらに順序づけて企画遂行する能力を身につけ、高めることを「職業能力開発」といいます。

職業能力開発総合大学校は、高い専門性と柔軟性を有した職業能力開発を担うことのできる人材を育成します。



■ アクセス

■ 西武国分寺線・西武拝島線「小川」駅西口より徒歩5分

「小川」駅へのアクセスは、JR中央線「国分寺」駅で西武国分寺線（東村山方面、小川駅直通）に乗り換え、あるいはJR山手線「高田馬場」駅で西武新宿線（拝島駅行、小川駅直通）に乗り換えが便利です。

■ JR武蔵野線「新小平」駅より徒歩25分



職業能力開発総合大学校
POLYTECHNIC UNIVERSITY (PTU)

TEL 042-346-7127

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1

職業大 🔍 検索

<https://www.uitec.jeed.go.jp/department/instructor/>

